

軫の浦学園観光情報発信の広め方 (Twitter・LINE・YouTube・Tik Tok)

今後、軫の浦の情報発信や観光情報・宿泊情報などを広めるために、広める方法を考えました。

どれがいいか

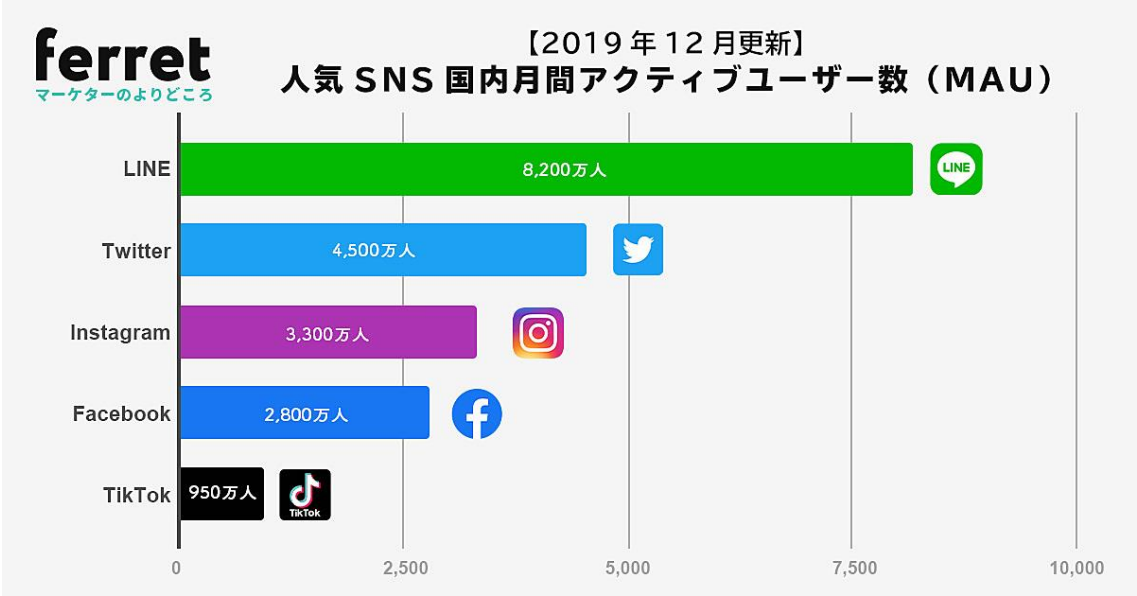
Twitter	気軽に投稿できることやフォローをしてもらったりフォローをする事で情報発信ができるというもの。しかも、多くの人に知ってもらえる。ですが、誹謗中症コメントをどうするかも考えないといけません。
LINE	公式 LINE アカウントを作ることで、情報を随時発信できる。ですが、友達追加をしないといけないため、手間が生まれますが、情報がすぐに発信できます。
YouTube	動画投稿サイトということで、編集し投稿することですぐに見られますし、見ている人もとても多いというのが特徴です。しかも、動画ということで、音声・映像などいろいろな視点から見れます。
Tik Tok	短い動画の投稿サイトなので、すぐ見れますし、フォローをする事で情報を素早くキャッチできます。ハートやコメントでたくさんの人に見てもらえます。とても便利ですがこれも、誹謗中症コメントをどう対処していくかがポイントです

これらの広め方の方法 (LINE は書きません)

Twitter	① フォロー・フォロワー機能 (Twitter と同じ) 軫の浦に興味を持ってもらおうと、フォローしてもらえたりします。そうすることで、軫の浦の観光客増加を狙います。 しかも、興味のあるような人をこちらからフォローすることによって軫の浦の観光客増加を狙います。
YouTube	① 動画編集 軫の浦の観光についての動画や PR 動画を随時更新するために、見やすくするために、動画編集をする事が大切。 ② チャンネル制作 どのようにしたら動画をアップできるか確認し、チャンネルを制作する事で、わかりやすく PR することができます。
Tik Tok	① 簡単に動画制作・動画発信 簡単に動画を制作しつつ、簡単に投稿できるというのは、とても便利です。たくさんの動画が制作できます。 ② フォロー・フォロワー機能 (Twitter と同じ) 軫の浦に興味を持ってもらおうと、フォローしてもらえたりします。そうすることで、軫の浦の観光客増加を狙います。

しかも、興味のある人はこちらからフォローすることによって、鞆の浦の観光客増加を狙います

利用者数について



	国内月間アクティブユーザー	ユーザー層	特徴
	8,400万	全世代が利用 幅広い	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ化したメッセージツール ・プッシュ通知を使った情報発信 ・LINE APIを使った自社サービス連携
	4,500万	20代が多い 平均年齢は35歳	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム性と情報拡散力 ・興味関心でつながる ・短文のコミュニケーション
	950万	10代と20代で半数以上を占める	<ul style="list-style-type: none"> ・ざくっと見られる短尺動画 ・豊富な動画編集機能

国内SNSユーザー数No.1 2020年3月時点

国内月間アクティブユーザー	ユーザー層 ※推定値	特徴
8,300万人	全世代が利用 幅広い	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージとタイムラインの二つを持つ ・スタンプが豊富 ・トークや通話などモバイル中心
6,200万人	全世代が利用 LINE同様幅広い	<ul style="list-style-type: none"> ・動画メイン ・検索エンジンとしての役割 ・世界的にもユーザー数多い
4,500万人	20代が多い 平均年齢は35歳	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム性 ・拡散性の期待 ・ハッシュタグ
3,300万人	10代と20代で半数以上を占める	<ul style="list-style-type: none"> ・写真メイン ・世界観の重要性 ・アクティブユーザーが多い・ハッシュタグフォロー可能
2,600万人	登録者数は20代と30代が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩なコンテンツ ・フォーマルな場 ・ターゲットの精度高い
950万人	10代と20代で半数以上を占める	<ul style="list-style-type: none"> ・動画メイン(15秒) ・ハッシュタグ ・豊富な動画編集機能 ・音楽性
530万人	20代と30代女性が 多い	<ul style="list-style-type: none"> ・写真/画像メイン ・コレクション性 ・画像のアイデア/デザインが豊富

このように SNS を使って鞆の浦の観光客増加を狙っています。